

時事問題演習 II

科目ナンバリング CAE-102
必修 2単位

上田 仁志

1. 授業の概要(ねらい)

毎日の生活の中で私達が最も注意を払うのは身近な問題です。学生の皆さんであれば、大学生活やアルバイト、もしくは好きな趣味の世界に一番関心を持っているはずです。それに比べれば、日本や世界の政治・経済情勢といった、大きな、しかしそれほど身近には感じにくい問題に興味をひかれることは少ないかもしれません。しかし、私たちの生活は意識している以上に世界の大きな動向によって左右されています。この授業では、時事問題をとおして、世界の大きな流れが日本社会に、ひいては私たちの生活にどのような影響をもたらしているかをさぐっていきます。秋期semesterでは、世界の動向を踏まえたうえで、日本国内のさまざまな課題、とくにDXなどのコロナ後の日本社会の動向に焦点を当てる予定です。

授業は講義形式ではなく、主体的な学びの方針に基づいて、個人やグループによる発表と質疑応答を中心に進めます。参加者は、新聞や雑誌のニュース記事の内容を要約し、独自の視点からテーマを掘り下げ、パワーポイントを用いてプレゼンテーションを行うことが求められます。

2. 授業の到達目標

1. 新聞・雑誌の時事的文章を200~400字程度で要約することができる。
2. 時事的テーマについて、パワーポイントを用いて5~10分程度の発表ができる。
3. 独自の視点から、時事的テーマを2000字程度の文章(レポート)にまとめることができる。

3. 成績評価の方法および基準

提出物40%、プレゼンテーション評価40%、期末レポート20%

4. 教科書・参考文献

教科書

使用しません。

5. 準備学修の内容

1. テーマに沿った時事的文章などを200字程度に要約する。
2. 発表時に、パワーポイント資料を作成する。

6. その他履修上の注意事項

1. 出席は「完全カードリーダー制」です。入室時と退室時に学生証をカードリーダーに当てて読み取らせてください。学生証忘れや学生証の当て忘れにはくれぐれも注意してください。学生証を忘れた場合は、授業時にその旨を申し出た上で、指定の手続きをしない限り、出席として認定しません。

2. 忌引きを含む公欠については、指定の手続きをした場合に限り、通常の出席として認定します。

3. 交通機関の遅延などの不可抗力による遅刻については、授業時にその旨を申し出た上で、指定の手続きをした場合に限り、通常の出席として認定します。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション:授業の到達目標、成績評価方法、進め方について説明する。メディア(新聞・テレビ・インターネットなど)の特徴・傾向とメディアを利用する際の注意点を解説する。春期の活動をふまえて、パワーポイント作成スキルを向上するポイントを解説する。
- 【第2回】 1990年代以降の日本国内の変化を政治的側面から学習する。学習内容の要点とコメントをまとめる。各自、興味のある時事的文章を用意してくる。
- 【第3回】 1990年代以降の日本国内の変化を経済的側面から学習する。学習内容の要点とコメントをまとめる。興味のある時事的文章別にグループを作る。
- 【第4回】 1990年代以降の日本国内の変化を社会・文化的側面から学習する。学習内容の要点とコメントをまとめる。グループ別に発表の準備をする。
- 【第5回】 グループまたは個人発表:国内の政治・経済の動向に関する時事テーマを研究発表する(1回目)。質疑応答を行う。コメント作成。
- 【第6回】 グループまたは個人発表:国内の政治・経済の動向に関する時事テーマを研究発表する(2回目)。質疑応答を行う。コメント作成。
- 【第7回】 グループまたは個人発表:国内政治・経済の動向に関する時事テーマを研究発表する(3回目)。質疑応答を行う。コメント作成。
- 【第8回】 グループまたは個人発表:国内の社会・文化の動向に関する時事テーマを研究発表する(1回目)。質疑応答を行う。コメント作成。
- 【第9回】 グループまたは個人発表:国内の社会・文化の動向に関する時事テーマを研究発表する(2回目)。質疑応答を行う。コメント作成。
- 【第10回】 グループまたは個人発表:国内の社会・文化の動向に関する時事テーマを研究発表する(3回目)。質疑応答を行う。コメント作成。
- 【第11回】 オンライン実施:これまでのプレゼンテーション資料とフィードバックコメントをもとにふりかえり・講評を行う。期末レポート(レポート原案)をまとめる。
- 【第12回】 グループまたは個人発表:これまでにに行った研究をさらに深め、PPTをブラッシュアップして最終研究発表を行う(1回目)。質疑応答を行う。コメント作成。
- 【第13回】 グループまたは個人発表:これまでにに行った研究をさらに深め、PPTをブラッシュアップして最終研究発表を行う(2回目)。質疑応答を行う。コメント作成。
- 【第14回】 グループまたは個人発表:これまでにに行った研究をさらに深め、PPTをブラッシュアップして最終研究発表を行う(3回目)。質疑応答を行う。コメント作成。
- 【第15回】 秋期semesterのまとめ:プレゼンテーションの成果をもとに個人単位で2000字程度の期末レポート(最終稿)を作成する。